

図 6-153 目が離せない

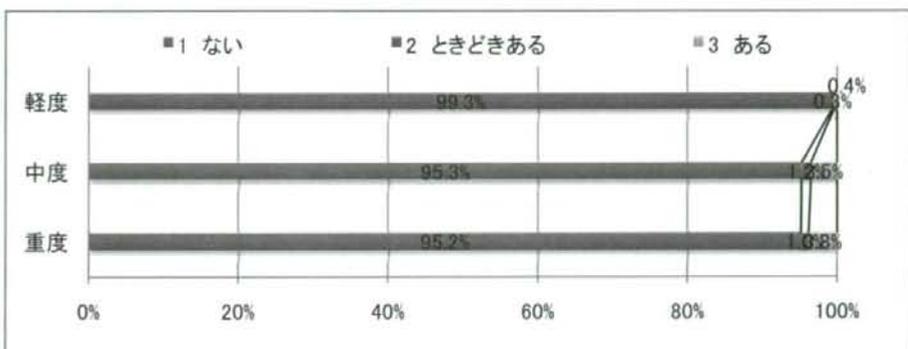


図 6-154 無断で収集

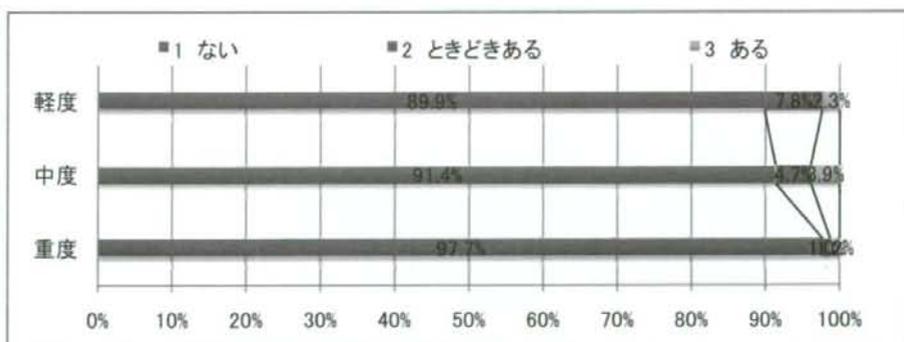


図 6-155 火元の管理

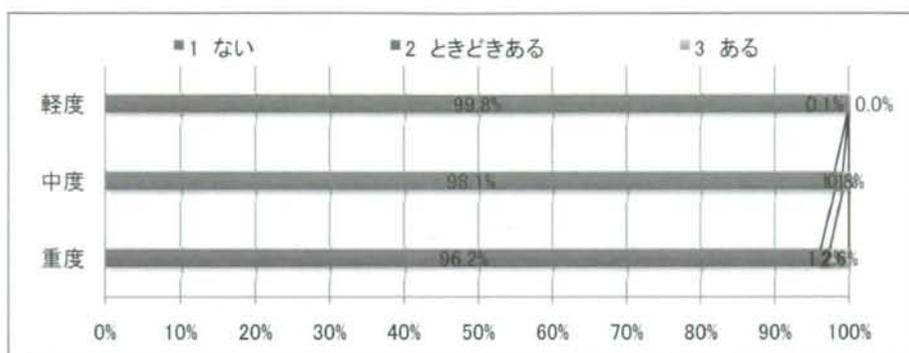


図 6-156 物や衣服の破壊

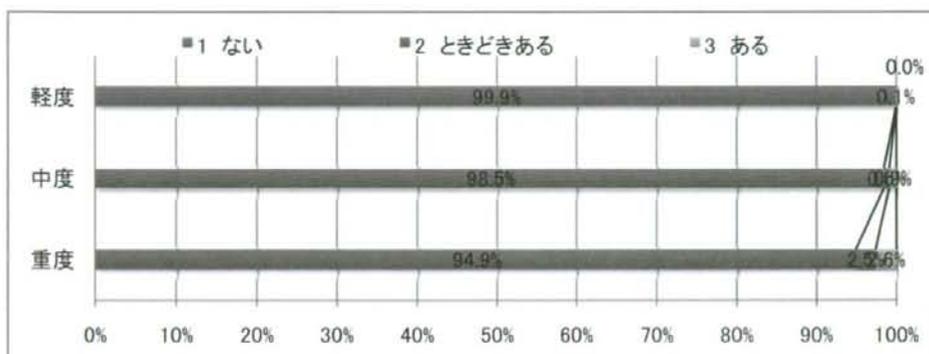


図 6-157 不潔な行為

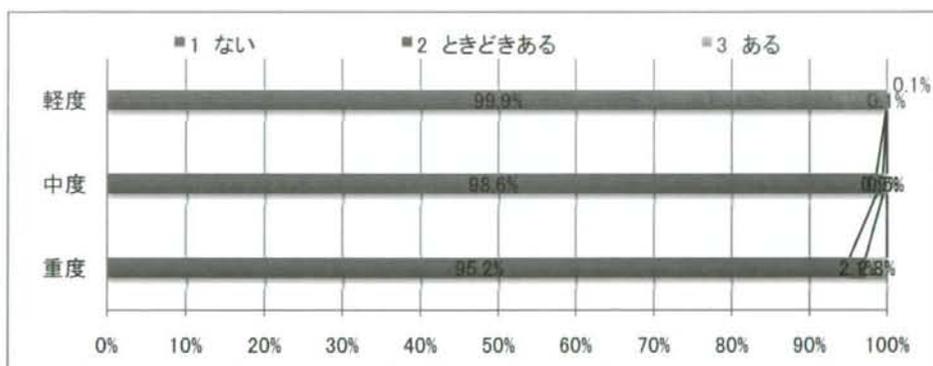


図 6-158 異食行動

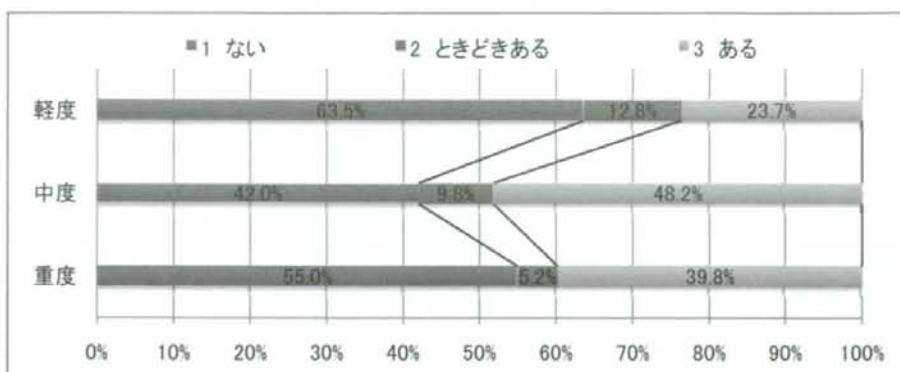


図 6-159 ひどい物忘れ

### 8) 特別な医療関連

特別な医療関連項目についても、在宅タイムスタディの結果と比較すると、有意差が見られたが、モデル事業認定データにおいては、「透析」「ストーマ」「疼痛の管理」において、中度と重度群の間に有意差が見られなかった。

また「点滴」「レスピレーター」「気管切開処置」「モニター測定」については、軽度と中度群間に有意差がみられなかった。それ以外のすべての項目において、要介護程度区分ごとに統計的に有意な差が見られた。

表 6-29 要介護程度区分別特別な医療関連項目の回答傾向 (モデル事業)

		要介護程度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
点滴	1 なし	16,532	97.3%	6,638	97.5%	1,909	94.2%		**	**
	2 あり	456	2.7%	171	2.5%	118	5.8%			
中心静脈栄養	1 なし	16,985	100.0%	6,802	99.9%	2,012	99.3%	**	**	**
	2 あり	3	0.0%	7	0.1%	15	0.7%			
透析	1 なし	16,787	96.8%	6,664	97.9%	1,988	96.1%	**		**
	2 あり	201	1.2%	145	2.1%	39	1.9%			
ストーマ	1 なし	16,962	99.6%	6,795	99.6%	2,014	99.4%	**		**
	2 あり	26	0.2%	24	0.4%	13	0.6%			
酸素療法	1 なし	16,768	98.7%	6,687	98.2%	1,959	96.6%	**	**	**
	2 あり	220	1.3%	122	1.8%	66	3.4%			
レスピレーター	1 なし	16,980	100.0%	6,807	100.0%	2,023	99.8%	**	*	*
	2 あり	8	0.0%	2	0.0%	4	0.2%			
気管切開処置	1 なし	16,977	99.9%	6,803	99.9%	2,012	99.3%	**	**	**
	2 あり	11	0.1%	6	0.1%	15	0.7%			
疼痛の管理	1 なし	16,793	98.9%	6,706	98.5%	1,992	96.3%	*		*
	2 あり	195	1.1%	103	1.5%	30	1.7%			
経管栄養	1 なし	16,988	100.0%	6,801	99.9%	1,941	95.8%	**	**	**
	2 あり	0	0.0%	8	0.1%	86	4.2%			
モニター測定	1 なし	16,984	100.0%	6,805	99.9%	2,021	99.7%	**	**	**
	2 あり	4	0.0%	4	0.1%	6	0.3%			
じよそでの処置	1 なし	16,978	99.9%	6,744	99.0%	1,849	91.2%	**	**	**
	2 あり	10	0.1%	65	1.0%	178	8.8%			
カテーテル	1 なし	16,954	99.8%	6,732	98.9%	1,893	93.4%	**	**	**
	2 あり	34	0.2%	77	1.1%	134	6.6%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

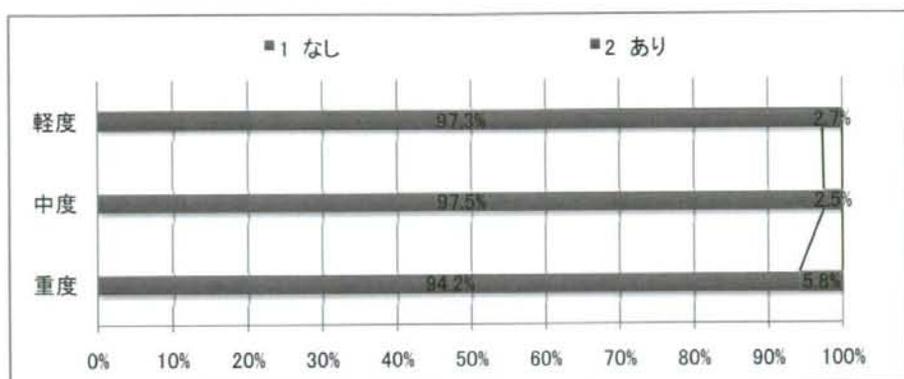


図 6-160 点滴

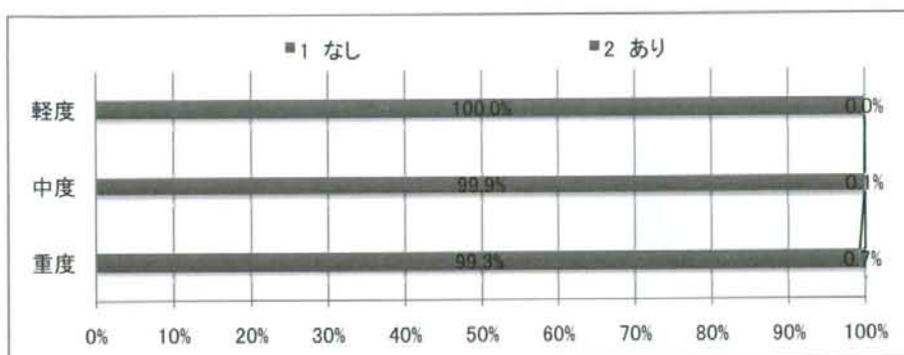


図 6-161 中心静脈栄養

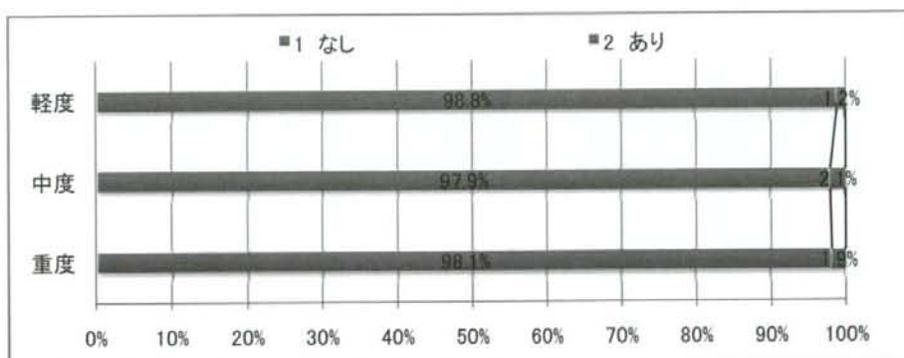


図 6-162 透析

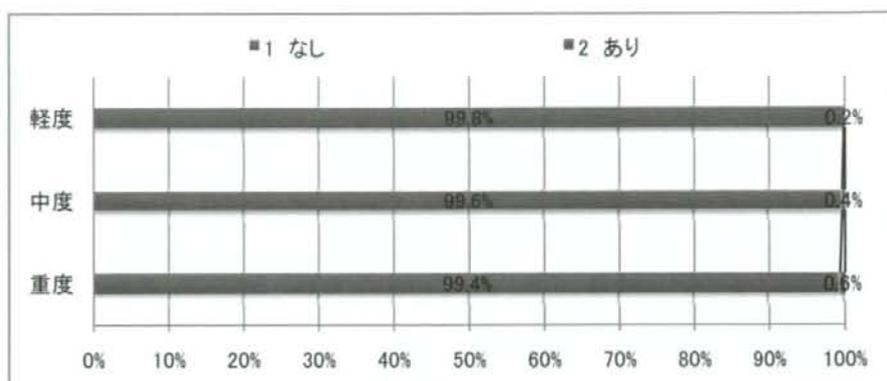


図 6-163 ストーマ

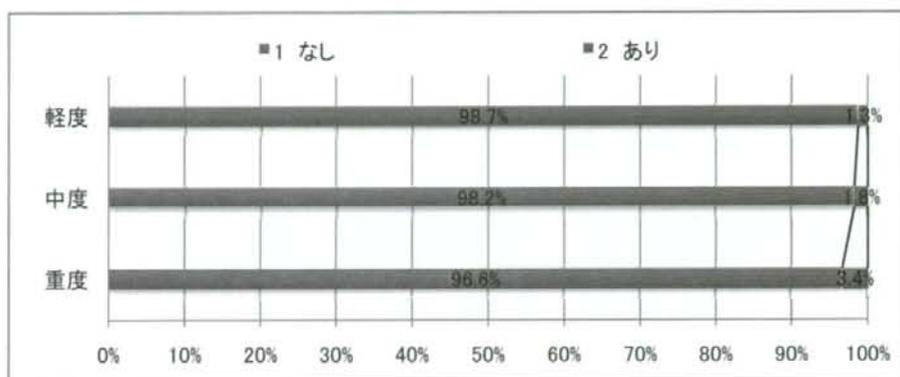


図 6-164 酸素療法

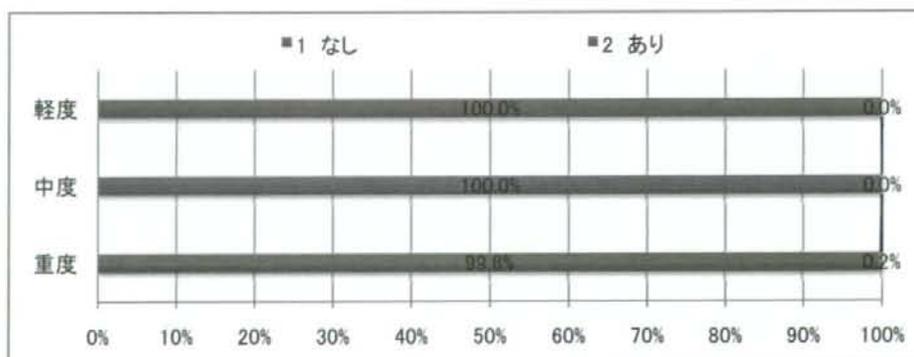


図 6-165 レスピレーター

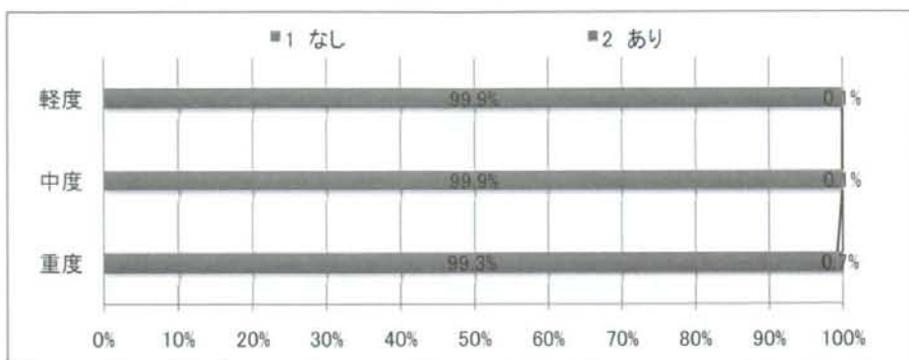


図 6-166 気管切開処置

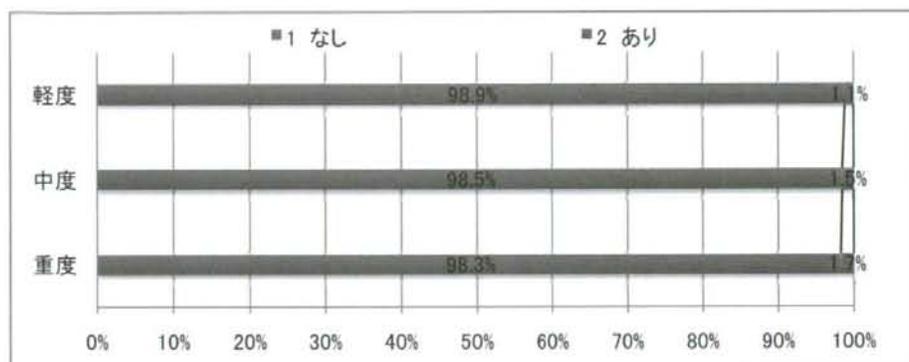


図 6-167 疼痛の管理

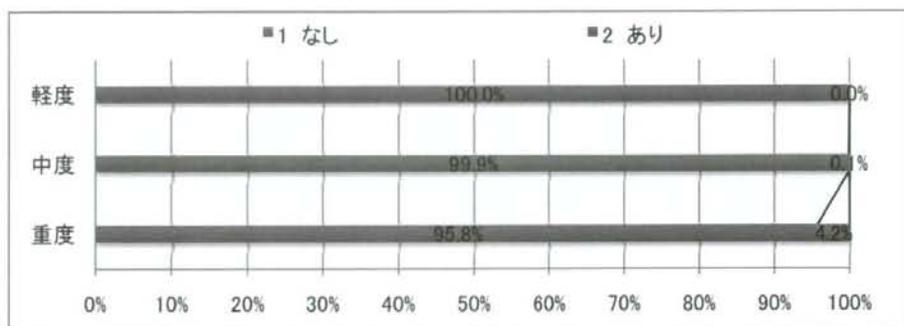


図 6-168 経管栄養

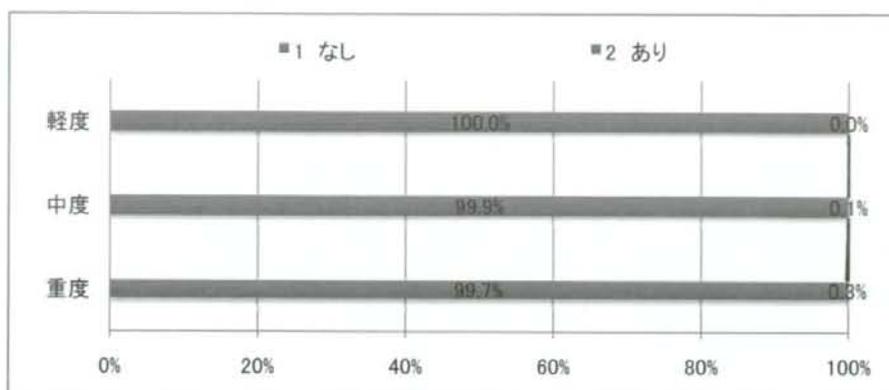


図 6-169 モニター測定

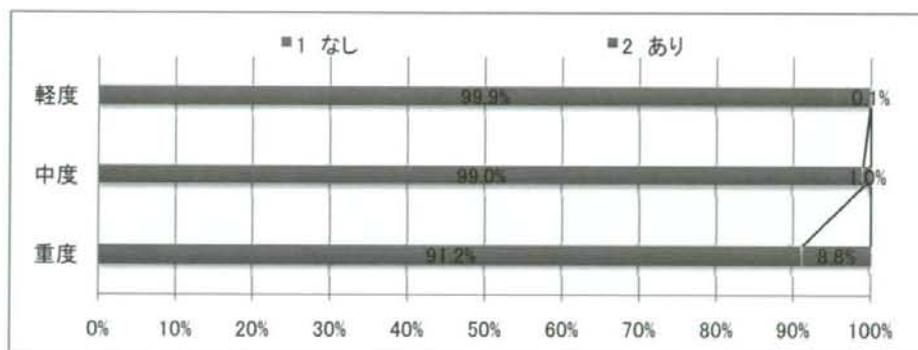


図 6-170 じょくそうの処置

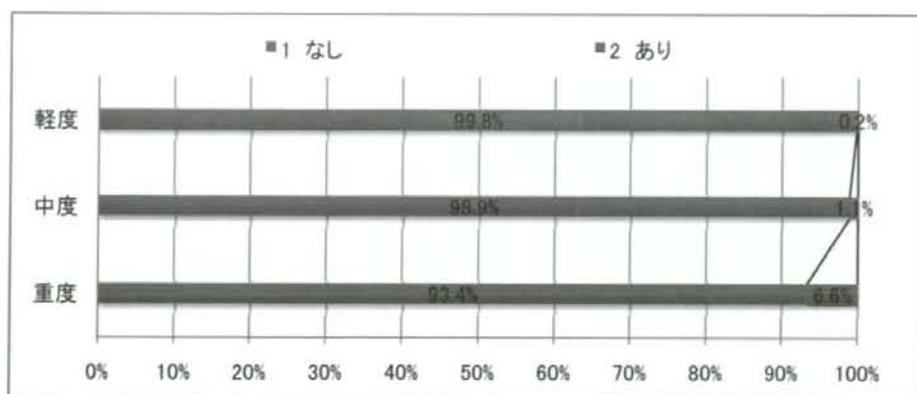


図 6-171 カテーテル

### 9) 寝たきり度および認知症度

寝たきり度および認知症度については、在宅タイムスタディと同様すべての群間に有意差が見られた。

表 6-30 要介護度区分別寝たきり度および認知症度の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇨中度	中度⇨重度	軽度⇨重度
		N	%	N	%	N	%			
寝たきり度	1 自立	148	0.9%	31	0.5%	3	0.1%	**	**	**
	2 J1	1,350	7.9%	30	0.4%	0	0.0%			
	3 J2	7,002	41.2%	537	7.9%	18	0.9%			
	4 A1	5,181	30.5%	1,821	26.7%	111	5.5%			
	5 A2	3,150	18.5%	2,662	39.1%	170	8.4%			
	6 B1	154	0.9%	1,128	16.6%	217	10.7%			
	7 B2	3	0.0%	540	7.9%	796	39.3%			
	8 C1	0	0.0%	50	0.7%	303	14.9%			
	9 C2	0	0.0%	10	0.1%	409	20.2%			
認知症度	1 自立	6,944	40.9%	1,011	14.8%	145	7.2%	**	**	**
	2 I	5,726	33.7%	1,313	19.3%	230	11.3%			
	3 IIa	1,914	11.3%	953	14.0%	152	7.5%			
	4 IIb	2,222	13.1%	1,806	26.5%	378	18.6%			
	5 IIIa	187	1.0%	1,362	20.0%	625	30.8%			
	6 IIIb	14	0.1%	302	4.4%	238	11.7%			
	7 IV	1	0.0%	56	0.8%	229	11.3%			
	8 M	0	0.0%	6	0.1%	30	1.5%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

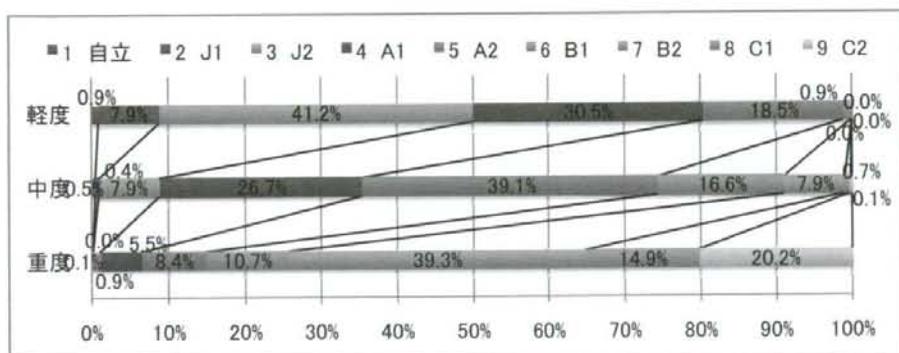


図 6-172 寝たきり度

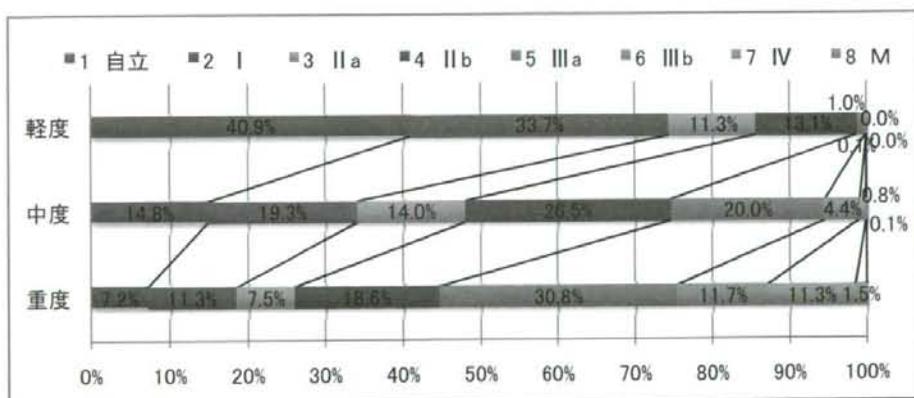


図 6-173 認知症度

## 10) 廃用の程度関連

廃用の程度関連については、モデル事業認定データについては、すべての項目について有意差がみられた。

表 6-31 要介護度区分別廃用の程度関連項目の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
日中の生活	1 よく動いている	1,947	11.5%	241	3.5%	37	1.8%	**	**	**
	2 座っていることが多い	10,298	60.6%	3,132	46.0%	521	25.7%			
	3 横になっていることが多い	4,743	27.9%	3,438	50.5%	1,469	72.5%			
外出頻度	1 週1回以上	12,811	75.4%	4,500	66.1%	1,086	53.6%	**	**	**
	2 月1回以上	3,376	19.9%	1,486	21.8%	350	17.3%			
	3 月1回未満	801	4.7%	823	12.1%	591	29.2%	**	**	**
生活状況の変化	1 ない	16,227	95.5%	6,375	93.6%	1,861	91.8%	**	**	**
	2 ある	781	4.5%	434	6.4%	166	8.2%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

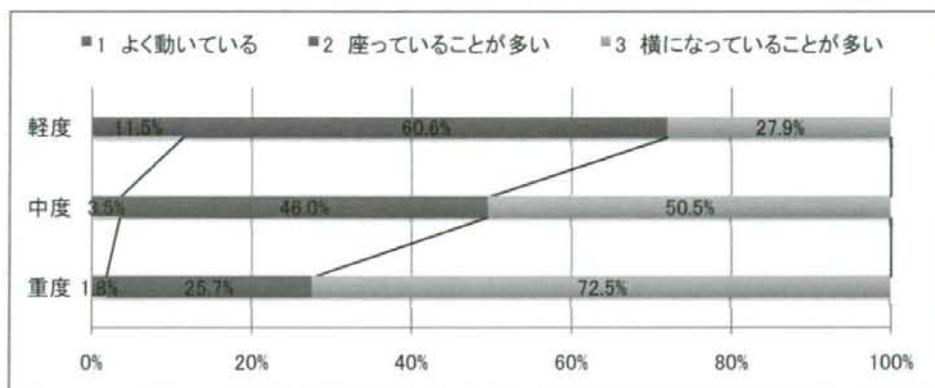


図 6-174 日中の生活

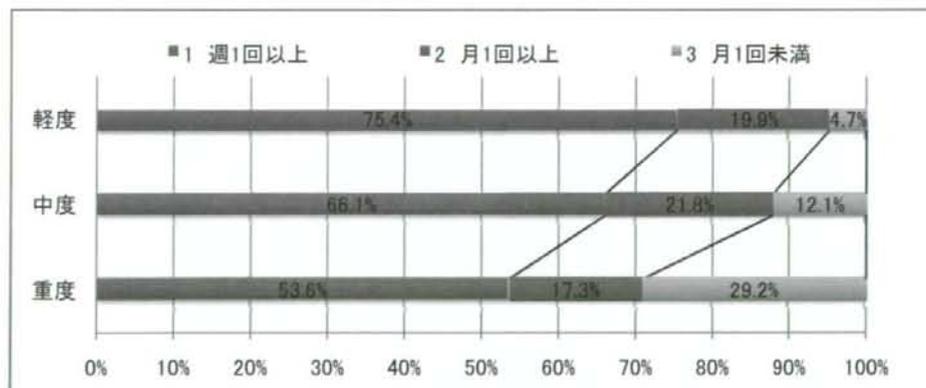


図 6-175 外出頻度

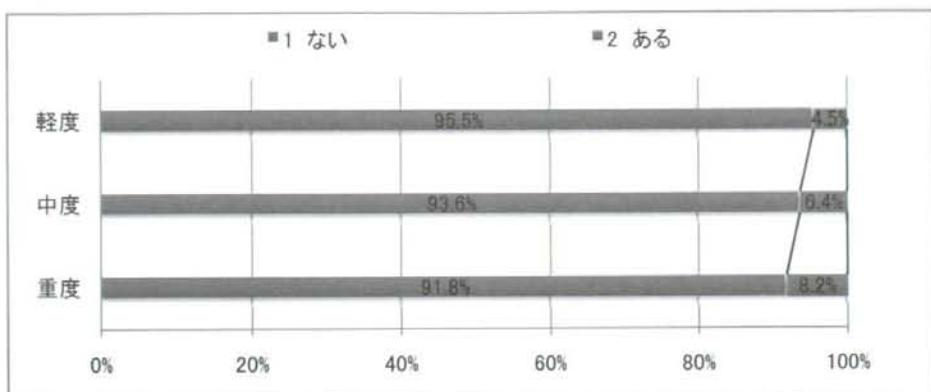


図 6-176 生活状況の変化

11) 社会生活適応関連項目（会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができない）

会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができないの 6 項目については、自分勝手な行動の中度と重度の群間以外には、すべて有意差がみられた。

表 6-32 要介護度区分別社会生活適応関連項目（会話にならない、買い物、簡単な調理、自分勝手な行動、意味のない独言、集団参加ができない）の回答傾向（モデル事業）

		要介護度区分						P値		
		軽度		中度		重度		軽度⇔中度	中度⇔重度	軽度⇔重度
		N	%	N	%	N	%			
会話にならない	1 ない	13,734	80.8%	3,566	52.4%	857	43.8%	**	**	**
	2 まれにある	1,291	7.5%	766	11.2%	147	7.3%			
	3 とときがある	1,046	6.2%	1,019	15.0%	282	13.9%			
	4 よくある	917	5.4%	1,458	21.4%	711	35.1%			
買い物	1 できる	10,373	61.1%	1,078	15.8%	94	4.6%	**	**	**
	2 見守り	1,929	11.4%	664	9.8%	50	2.5%			
	3 一部介助	2,874	16.9%	1,976	29.0%	265	13.1%			
	4 全介助	1,812	10.7%	3,091	45.4%	1,618	79.8%			
簡単な調理	1 できる	8,421	49.8%	513	7.5%	27	1.3%	**	**	**
	2 見守り	1,340	7.9%	295	4.3%	10	0.5%			
	3 一部介助	3,799	22.4%	1,391	20.4%	88	4.3%			
	4 全介助	3,428	20.2%	4,610	67.7%	1,902	93.8%			
自分勝手な行動	1 ない	13,849	81.5%	3,916	57.5%	1,181	58.3%	**	**	**
	2 まれにある	1,062	6.3%	589	8.7%	112	5.5%			
	3 とときがある	1,025	6.0%	815	12.0%	194	9.6%			
	4 よくある	1,052	6.2%	1,489	21.9%	540	26.6%			
意味の独り言等	1 ない	15,773	92.8%	5,345	78.5%	1,386	68.4%	**	**	**
	2 まれにある	434	2.6%	312	4.6%	105	5.2%			
	3 とときがある	339	2.0%	421	6.2%	168	8.3%			
	4 よくある	442	2.6%	731	10.7%	386	18.2%			
集団参加ができない	1 ない	12,115	71.3%	4,024	59.1%	1,068	52.7%	**	**	**
	2 まれにある	1,021	6.0%	466	6.9%	88	4.3%			
	3 とときがある	1,024	6.0%	542	8.0%	132	6.5%			
	4 よくある	2,828	16.8%	1,777	26.1%	739	36.5%			

\*\* P<0.01 \* P<0.05

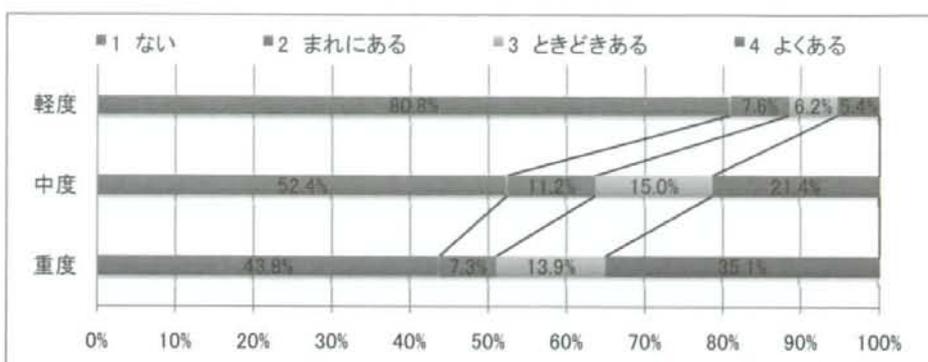


図 6-177 会話にならない

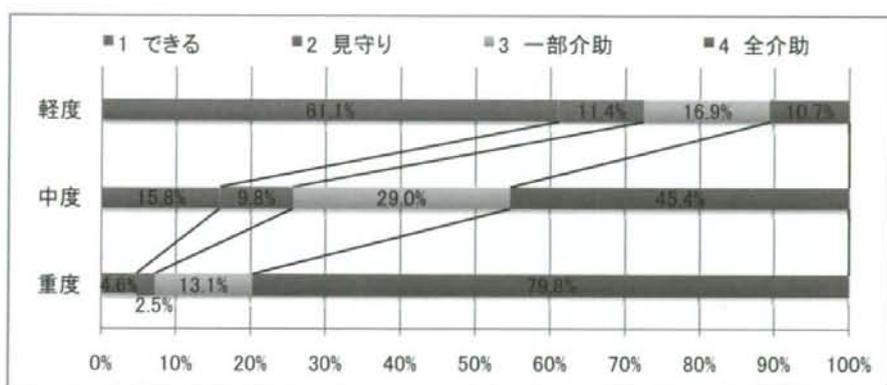


図 6-178 買い物

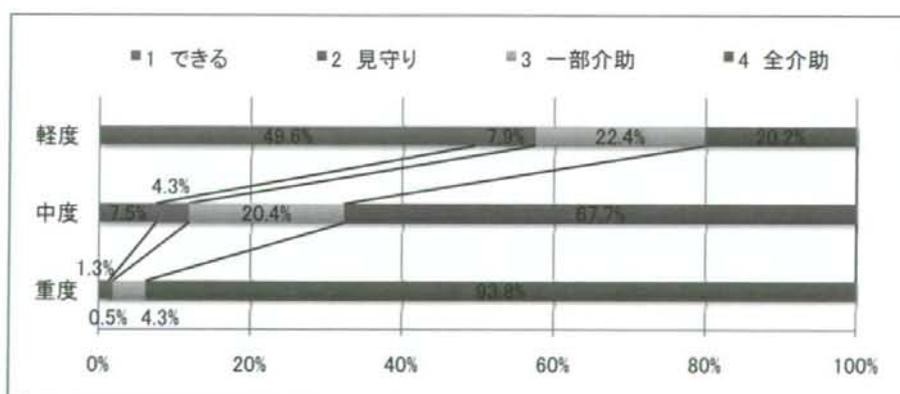


図 6-179 簡単な調理

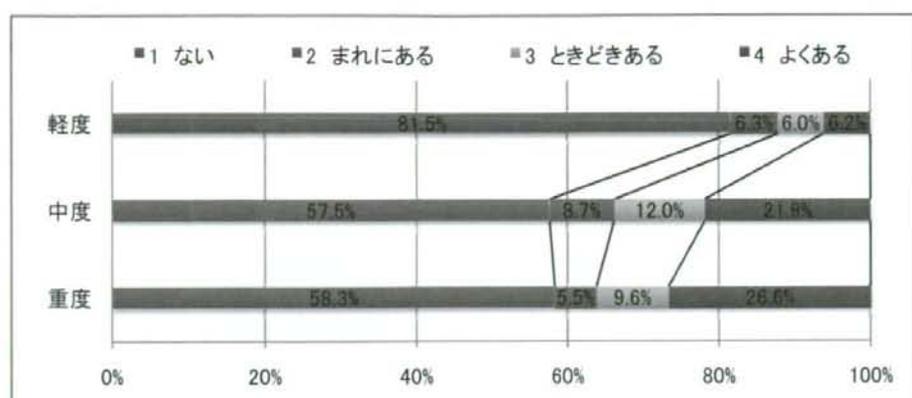


図 6-180 自分勝手な行動

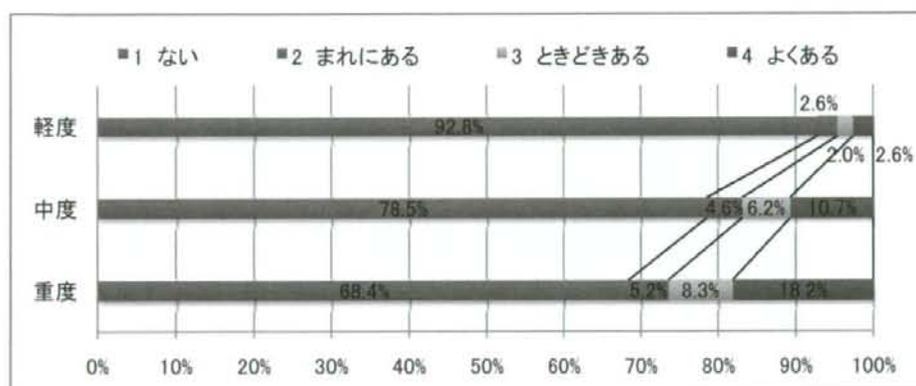


図 6-181 意味の独り言等

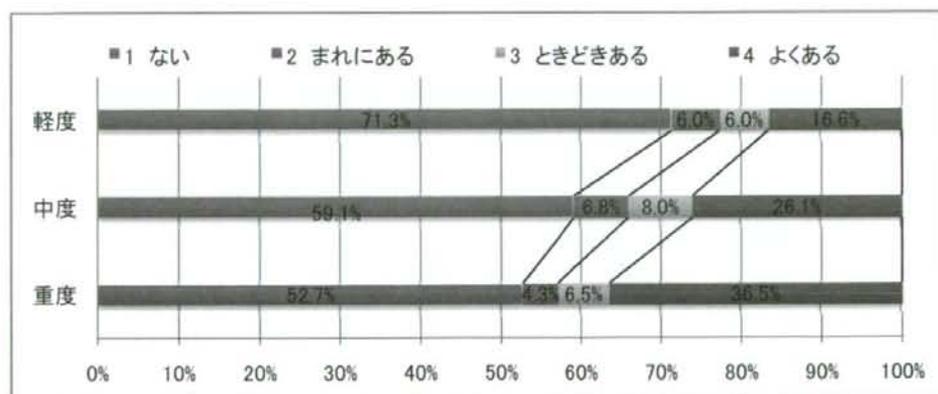


図 6-182 集団参加ができない

## 6. 介護保険サービスの利用状況

### (1) サービスの利用の有無

介護保険サービスの利用状況について、訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与の7種類について、要介護度区分別の差異を検討した。

軽度群と中度群の間には、福祉用具貸与を除き、サービス利用の有無について統計的な有意差は見られなかった。訪問介護、訪問入浴、訪問看護、福祉用具貸与には、中度と重度、および軽度と重度の間に統計的有意差が見られた。訪問リハについては、軽度と重度の間にはのみ統計的有意差がみられた。

以上の結果は、現状の通所介護、通所リハビリテーションは、要介護度度と関係なく利用されていたことを示していた。また、訪問介護、訪問入浴、訪問看護は、中度と重度に軽度と異なった利用形態が示されていた。訪問リハビリテーションについては、かなり特徴的な利用がなされていることが推察された。

表 6-33 要介護度区分別サービスの利用の有無

		なし		あり		P 値	
		N	%	N	%		
訪介	軽度	84	68.9%	38	31.1%	軽度⇔中度	
	中度	130	71.4%	52	28.6%	中度⇔重度	**
	重度	86	53.1%	76	46.9%	重度⇔軽度	**
訪入	軽度	118	96.7%	4	3.3%	軽度⇔中度	
	中度	174	95.6%	8	4.4%	中度⇔重度	**
	重度	111	68.5%	51	31.5%	重度⇔軽度	**
訪看	軽度	104	85.2%	18	14.8%	軽度⇔中度	
	中度	145	79.7%	37	20.3%	中度⇔重度	**
	重度	66	40.7%	96	59.3%	重度⇔軽度	**
訪リ	軽度	113	92.6%	9	7.4%	軽度⇔中度	
	中度	161	88.5%	21	11.5%	中度⇔重度	
	重度	133	82.1%	29	17.9%	重度⇔軽度	**
通介	軽度	55	45.1%	67	54.9%	軽度⇔中度	
	中度	81	44.5%	101	55.5%	中度⇔重度	
	重度	80	49.4%	82	50.6%	重度⇔軽度	
通り	軽度	84	68.9%	38	31.1%	軽度⇔中度	
	中度	132	72.5%	50	27.5%	中度⇔重度	
	重度	127	78.4%	35	21.6%	重度⇔軽度	

用具	軽度	54	44.3%	68	55.7%	軽度⇔中度	**
	中度	48	26.4%	134	73.6%	中度⇔重度	**
	重度	18	11.1%	144	88.9%	重度⇔軽度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

## (2) サービス利用の組み合わせ

軽度群においては、1種類の利用が39.7%と一番多く、次いで2種類が38.0%と続いた。中度群においては、2種類が45.6%と一番多く、その後3種類以上が31.1%と続いた。重度においては、3種類以上が63.4%と6割以上を占め、その後2種類が30.4%となっていた。

軽度、中度、重度と要介護度が高くなるに従って、サービスの種類が増える傾向が示された。

表 6-34 要介護度区分サービス利用種類数

	1種類		2種類		3種類以上	
	N	%	N	%	N	%
軽度	48	39.7	46	38.0	27	22.3
中度	42	23.3	82	45.6	56	31.1
重度	10	6.2	49	30.4	102	63.4
合計	100	21.6	177	38.3	185	40.0

表 6-35 軽度群のサービス組み合わせ

	N	%
通介	27	22.1
通介、用具	19	15.6
通り、用具	14	11.5
通り	11	9.0
訪介	7	5.7
訪介、用具	6	4.9
訪介、通介、用具	6	4.9
訪介、通り、用具	4	3.3
訪介、通介	4	3.3
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	4	3.3
訪介、訪看、用具	3	2.5
訪看	2	1.6
訪看、通介、通り、用具	2	1.6

訪介、訪看、通介、用具	2	1.6
なし	1	0.8
用具	1	0.8
通介、通り、用具	1	0.8
訪り、用具	1	0.8
訪り、通り	1	0.8
訪り、通介、用具	1	0.8
訪看、用具	1	0.8
訪看、通り、用具	1	0.8
訪看、通介、用具	1	0.8
訪介、訪看、訪り	1	0.8
訪介、訪看、訪り、用具	1	0.8

表 6-36 中度群のサービス利用組み合わせ

	N	%
通介、用具	37	20.3
通介	22	12.1
通り、用具	19	10.4
訪介、用具	13	7.1
通介、通り、用具	10	5.5
訪介、通介、用具	8	4.4
訪看、用具	7	3.8
用具	6	3.3
通り	5	2.7
訪看	4	2.2
訪看、通介、用具	4	2.2
訪介	4	2.2
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	4	2.2
訪り、通介、用具	3	1.6
訪介、通り、用具	3	1.6
なし	2	1.1
訪看、訪り、用具	2	1.1
訪看、訪り、通介	2	1.1
訪入、訪看、用具	2	1.1
訪介、通介	2	1.1

訪介、通介、通り、用具	2	1.1
訪介、訪り、通介、用具	2	1.1
訪介、訪看	2	1.1
訪介、訪看、用具	2	1.1
通介、通り	1	0.5
訪り	1	0.5
訪り、通り、用具	1	0.5
訪看、通り、用具	1	0.5
訪看、訪り、通介、用具	1	0.5
訪介、通り	1	0.5
訪介、通介、通り	1	0.5
訪介、訪り、用具	1	0.5
訪介、訪り、通り、用具	1	0.5
訪介、訪看、通り、用具	1	0.5
訪介、訪看、通介	1	0.5
訪介、訪看、訪り、用具	1	0.5
訪介、訪看、訪り、通介、用具	1	0.5
訪介、訪入、訪看、用具	1	0.5
訪介、訪入、訪看、訪り、用具	1	0.5

表 6-37 重度群のサービス利用組み合わせ

	N	%
通介、用具	22	13.6
訪介、訪入、訪看、訪り、通介、通り、用具	15	9.3
訪看、通介、用具	14	8.6
訪介、訪入、訪看、用具	12	7.4
訪介、訪看、通介、用具	11	6.8
訪入、訪看、用具	8	4.9
訪介、訪看、用具	7	4.3
訪看、用具	6	3.7
用具	5	3.1
訪介、用具	5	3.1
通り、用具	4	2.5
訪看、通り、用具	4	2.5
訪入、用具	4	2.5

訪介、通り、用具	4	2.5
訪介、通介	3	1.9
訪介、通介、用具	3	1.9
訪介、訪入、訪看、訪り、用具	3	1.9
通り	2	1.2
通介	2	1.2
訪看、訪り、用具	2	1.2
訪入、訪看、通介、用具	2	1.2
訪介、通介、通り、用具	2	1.2
訪介、訪り、用具	2	1.2
訪介、訪看	2	1.2
なし	1	0.6
通介、通り	1	0.6
通介、通り、用具	1	0.6
訪り、通り、用具	1	0.6
訪り、通介、用具	1	0.6
訪看、通り	1	0.6
訪看、訪り、通介	1	0.6
訪看、訪り、通介、用具	1	0.6
訪入、訪看、	1	0.6
訪入、訪看、通介、	1	0.6
訪入、訪看、訪り、用具	1	0.6
訪介	1	0.6
訪介、訪看、通介	1	0.6
訪介、訪看、訪り、用具	1	0.6
訪介、訪入、用具	1	0.6
訪介、訪入、訪り、用具	1	0.6
訪介、訪入、訪看	1	0.6
訪介、訪入、訪看、通介、用具	1	0.6

### (3) サービス利用回数

要介護度区分別のサービス利用回数の月平均を分析した結果、軽度、中度、重度とすべて群の間に有意な差が示されたのは、用具貸与だけであった。有意な差が示されたのは、軽度と重度群の間に訪問介護と訪問入浴が示されただけであった。すなわち、用具貸与を除き軽度群と中度群および中度群と重度群において、統計的有意差は見られず、要介護度

が高くなってもその提供量は、増加する傾向がないことを示していた。

表 6-38 要介護度区別サービス利用回数の比較

		N	最小値	最大値	平均値	標準偏差	P 値	
訪介	軽度	27	0	48	13.3	11.6	軽度⇔中度	
	中度	52	0	120	14.1	20.0	中度⇔重度	
	重度	73	0	120	21.2	23.8	軽度⇔重度	
訪入	軽度	2	0	0	0.0	0.0	軽度⇔中度	
	中度	8	0	16	3.5	5.4	中度⇔重度	
	重度	51	0	32	5.1	4.6	軽度⇔重度	
訪看	軽度	14	0	16	6.1	4.2	軽度⇔中度	
	中度	37	0	48	7.1	9.3	中度⇔重度	
	重度	96	0	36	7.8	6.6	軽度⇔重度	
訪り	軽度	7	0	8	3.7	3.4	軽度⇔中度	
	中度	21	0	24	4.8	5.6	中度⇔重度	
	重度	29	0	12	3.4	3.2	軽度⇔重度	
通介	軽度	47	4	48	10.3	7.0	軽度⇔中度	
	中度	101	0	64	10.9	7.9	中度⇔重度	
	重度	83	0	52	9.4	9.0	軽度⇔重度	
通り	軽度	23	0	48	9.0	9.3	軽度⇔中度	
	中度	49	0	36	8.7	6.7	中度⇔重度	
	重度	34	0	68	7.9	11.9	軽度⇔重度	
用具	軽度	52	4	8	6.6	1.9	軽度⇔中度	**
	中度	135	4	8	5.1	1.8	中度⇔重度	**
	重度	144	4	8	4.4	1.2	軽度⇔重度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

#### (4) 要介護度区分別モデル事業における利用状況との比較

##### 1) サービス利用の有無

要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の有無をみたところ、すべての群間に統計的有意差がみられた。

表 6-39 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の有無

		なし		あり		P 値	
		N	%	N	%		
訪介	軽度	12,499	73.6%	4,489	26.4%	軽度⇔中度	*
	中度	5,110	75.0%	1,699	25.0%	中度⇔重度	**
	重度	1,401	69.1%	626	30.9%	軽度⇔重度	**
訪入	軽度	16,978	99.9%	10	0.1%	軽度⇔中度	**
	中度	6,730	98.8%	79	1.2%	中度⇔重度	**
	重度	1,799	88.8%	228	11.2%	軽度⇔重度	**
訪看	軽度	16,691	98.3%	297	1.7%	軽度⇔中度	**
	中度	6,430	94.4%	379	5.6%	中度⇔重度	**
	重度	1,671	82.4%	356	17.6%	軽度⇔重度	**
訪リ	軽度	16,826	99.0%	162	1.0%	軽度⇔中度	**
	中度	6,649	97.7%	160	2.3%	中度⇔重度	**
	重度	1,912	94.3%	115	5.7%	軽度⇔重度	**
通介	軽度	12,558	73.9%	4,430	26.1%	軽度⇔中度	**
	中度	4,189	61.5%	2,620	38.5%	中度⇔重度	*
	重度	1,302	64.2%	725	35.8%	軽度⇔重度	**
通り	軽度	15,334	90.3%	1,654	9.7%	軽度⇔中度	**
	中度	5,772	84.8%	1,037	15.2%	中度⇔重度	**
	重度	1,771	87.4%	256	12.6%	軽度⇔重度	**
用具	軽度	15,646	92.1%	1,342	7.9%	軽度⇔中度	**
	中度	4,793	70.4%	2,016	29.6%	中度⇔重度	**
	重度	936	46.2%	1,091	53.8%	軽度⇔重度	**

\*\* P<0.01 \* P<0.05

##### 2) サービス利用の組み合わせ

サービス利用の種類数についてみたところ、軽度群は1種類が76.6%と一番多く、中度群においても52.2%と少なくなったものの、1種類の利用が一番多かった。

重度群においては、2種類の利用が37.6%と一番多く、3種類以上も35.2%と軽度中度和比較すると多かった。在宅タイムスタディと比較し、1種類利用の割合が多かった。

表 6-40 要介護度区分別モデル事業におけるサービス利用の組み合わせ数

	1種類		2種類		3種類以上	
	N	%	N	%	N	%
軽度	7490	76.6	1987	20.3	297	3.0
中度	2564	52.2	1715	34.9	629	12.8
重度	422	27.2	583	37.6	547	35.2
合計	10476	64.5	4285	26.4	1473	9.1

表 6-41 軽度群のサービス利用組み合わせ (モデル事業)

	N	%
通介	3071	18.1
訪介	2757	16.2
通り	1095	6.4
訪介、通介	830	4.9
用具	428	2.5
訪介、用具	271	1.6
訪介、通り	258	1.5
通介、用具	244	1.4
通り、用具	130	0.8
訪介、通介、用具	118	0.7
訪看	89	0.5
訪介、訪看	76	0.4
通介、通り	53	0.3
訪り	47	0.3
訪介、通り、用具	36	0.2
訪介、訪り	29	0.2
訪看、通介	24	0.1
訪介、訪看、通介	23	0.1
訪り、用具	20	0.1
訪介、訪看、用具	17	0.1
訪看、用具	15	0.1
訪介、通介、通り	13	0.1